

## 岐阜県関係古地図

	著者・出版社(者)	地図名	発行年	寸法(cm)	概要
1	矢崎慶吉(編集)	大垣市明細地図	昭和10(1935)年	64×47	
2	川瀬善一(著)	美濃国名邑風致簡覧図	明治14(1881)年	51×37	美濃国の地図が描かれている。美濃国概略形状一覧表、道路河川里程表とともに、南宮神社、養老の滝などの名所が絵で描かれている。
		美濃岐阜市街全図	明治17(1884)年	38×53	岐阜市の近代都市図としては、最も古い。今後、同じような地図が発行されるが、この地図が発行された頃は岐阜駅がなかったことがわかる。多色刷り。
		岐阜市街新全図	明治22(1889)年	74×51	明治22年頃の岐阜市の地図を中心に描き、そのまわりには、商店、寺院、史跡などの建築物が絵として描かれている。
3	水谷善七(著)	美濃国名邑風致簡覧図	明治14(1881)年	51×37	美濃国の地図が描かれている。美濃国概略形状一覧表、道路河川里程表とともに、南宮神社、養老の滝などの名所が絵で描かれている。
		美濃岐阜市街全図	明治17(1884)年	38×53	岐阜市の近代都市図としては、最も古い。今後、同じような地図が発行されるが、この地図が発行された頃は岐阜駅がなかったことがわかる。多色刷り。
4	六月勤二(出版)	岐阜市街新全図	明治22(1889)年	74×51	明治22年頃の岐阜市の地図を中心に描き、そのまわりには、商店、寺院、史跡などの建築物が絵として描かれている。
5	大久保慶十郎(著)	西国三十三所独案内	明治15(1881)年	66×50	大久保慶十郎、岩崎幸八が発起人となって作成した地図である。中山道、東海道や近道に、旧城下、名所、村名が記されている。谷汲山華嚴寺は境内の様子が絵で描かれている。
6	岩崎幸八(著)	西国三十三所独案内	明治15(1881)年	66×50	大久保慶十郎、岩崎幸八が発起人となって作成した地図である。中山道、東海道や近道に、旧城下、名所、村名が記されている。谷汲山華嚴寺は境内の様子が絵で描かれている。
7	豊田義峰(出版・画)	美濃谷汲山真景全図	明治11(1877)年	49×68	川口伊三郎、伊藤伊左衛門、片桐久治郎、國枝長治郎、谷川武兵衛が発起人と記載されている。谷汲山縁起が記され、本堂までの境内の様子が絵図で描かれている。
8	竹中群龍堂(彫刻)	美濃谷汲山真景全図	明治11(1877)年	49×68	川口伊三郎、伊藤伊左衛門、片桐久治郎、國枝長治郎、谷川武兵衛が発起人と記載されている。谷汲山縁起が記され、本堂までの境内の様子が絵図で描かれている。
9	川口伊三郎(発起人)	美濃谷汲山真景全図	明治11(1877)年	49×68	川口伊三郎、伊藤伊左衛門、片桐久治郎、國枝長治郎、谷川武兵衛が発起人と記載されている。谷汲山縁起が記され、本堂までの境内の様子が絵図で描かれている。
10	伊藤伊左衛門(発起人)	美濃谷汲山真景全図	明治11(1877)年	49×68	川口伊三郎、伊藤伊左衛門、片桐久治郎、國枝長治郎、谷川武兵衛が発起人と記載されている。谷汲山縁起が記され、本堂までの境内の様子が絵図で描かれている。
11	片桐久治郎(発起人)	美濃谷汲山真景全図	明治11(1877)年	49×68	川口伊三郎、伊藤伊左衛門、片桐久治郎、國枝長治郎、谷川武兵衛が発起人と記載されている。谷汲山縁起が記され、本堂までの境内の様子が絵図で描かれている。
12	國枝長治郎(発起人)	美濃谷汲山真景全図	明治11(1877)年	49×68	川口伊三郎、伊藤伊左衛門、片桐久治郎、國枝長治郎、谷川武兵衛が発起人と記載されている。谷汲山縁起が記され、本堂までの境内の様子が絵図で描かれている。
13	谷川武兵衛(発起人)	美濃谷汲山真景全図	明治11(1877)年	49×68	川口伊三郎、伊藤伊左衛門、片桐久治郎、國枝長治郎、谷川武兵衛が発起人と記載されている。谷汲山縁起が記され、本堂までの境内の様子が絵図で描かれている。
14	矢野平兵衛(編集)	勸願所美濃国虎溪山永保寺絵図	明治14(1881)年	39×52	小田切春江の画である。虎溪山永保寺境内の絵図が描かれている。白黒で明治14年2月1日に出版届が出ている。
		虎溪山永保寺絵図	明治14(1881)年	39×5	小田切春江の画である。
15	小田切春江(画)	勸願所美濃国虎溪山永保寺絵図	明治14(1881)年	39×52	虎溪山永保寺境内の絵図が描かれている。白黒で明治14年2月1日に出版届が出ている。
		虎溪山永保寺絵図	明治14(1881)年	39×5	
16	若山又二郎(編集)	岐阜県新地図	明治27(1894)年	72×50	

17	長瀬寛二(編集)	改正美濃国明細全図	明治17(1884)年	70×87	伴野辰次郎の画である。美濃国の略説が図の左上に記されている。美濃国の郡ごとに色分けがされ、損名、戸長役場などが明記されている。
		新撰飛騨国明細全図	明治18(1885)年	66×75	伴野辰次郎の画である。飛騨国について図の左下に記されている。飛騨国の郡ごとに色分けがされ、損名、戸長役場などが明記されている。
18	伴野辰次郎(画)	改正美濃国明細全図	明治17(1884)年	70×87	伴野辰次郎の画である。美濃国の略説が図の左上に記されている。美濃国の郡ごとに色分けがされ、損名、戸長役場などが明記されている。
		新撰飛騨国明細全図	明治18(1885)年	66×75	伴野辰次郎の画である。飛騨国について図の左下に記されている。飛騨国の郡ごとに色分けがされ、損名、戸長役場などが明記されている。
19	竹中栄助(著)	美濃国西半面図	明治29(1896)年	119×145	竹中栄助が手書きで描いた地図である。
20	藤塚造六(編集)	美濃国養老公園全形絵図	明治22(1889)年	39×54	地図の左端部分に、養老公園についての記述がある。養老公園全体の様子を絵図で描かれており、白黒で印刷されている。
21	宮部銀次郎(著)	最近実測岐阜市明細図	大正4(1915)年	40×54	
22	森 銀蔵(印刷)	最近実測岐阜市明細図	大正4(1915)年	40×54	
23	勅使川原溥(著)	実測岐阜市全図	大正6(1917)年	40×55	
24	安田佐七(出版)	実測岐阜市全図	大正6(1917)年	40×55	
25	安田武夫(印刷)	実測岐阜市全図	大正6(1917)年	40×55	
26	和田玉壺(編集・製図)	美濃養老公園全図	明治26(1893)年	40×53	和田玉壺が製図を行なっている。地図の右上部分に、養老公園について漢文で記されている。養老公園全体を絵図で色彩鮮やかに描かれている。
27	高木津祢(出版)	美濃養老公園全図	明治26(1893)年	40×53	和田玉壺が製図を行なっている。地図の右上部分に、養老公園について漢文で記されている。養老公園全体を絵図で色彩鮮やかに描かれている。
28	岡本喜十郎(著)	濃州養老湯山図	不明	36×49	養老公園の千歳楼を中心に描かれた絵図である。地図の右端部分に千歳楼から眺望できる自然などが記されている。白黒で印刷されている。
29	足立福太郎(著)	大垣市街地図	大正7年(1918)年	54×78	
30	小山吉三(著)	大垣市(鳥瞰図)	昭和7(1932)年	15×42	
31	木谷佐一(著)	大日本職業別明細図	昭和16(1941)年	55×79	
32	梅川東居(画)	濃州横山川藤橋図	不明	36×41	
33	梅村施與	美濃国喪山真景	[1870]	28×39	
34	清水一郎	岐阜長良川鶴飼之図	明治22(1889)年	37×43	
35	不明	谷汲山華嚴寺全図	明治30(1897)年	39×55	仁王門から本道までを南東方向より鳥瞰図的に、絵で描かれている。
36	不明	美濃国谷汲山絵図	不明	38×50	地図の上部に、谷汲山華嚴寺の縁起が明記されている。中央には仁王門から表道、そして華嚴寺本堂までが鳥瞰図的に、絵で描かれている。
37	不明	保木脇村・下河和村入会山絵図	不明	32×45	保木脇村・下河和村の範囲が示されており、中央には、公有地と明記されている。
38	不明	第八大区十三小区武儀郡上之保村地引絵図	不明	310×107	武儀郡上之保村地引絵図と明記されている。区画には番地が明記されている。
39	不明	岐阜市地図(志節・天神・西野・京町)	不明	55×95	区画ごとに番地が明記されている。中央に高等女学校の敷地が描かれている。
40	不明	尾濃勢川々図	明治3(1869)年	39×54	明治3年5月に描かれた木曾三川の図である。明治改修前の木曾三川の様子を読み取ることができる。